

令和8年度 10月号 令和8年9月24日



学校だより

熊谷市立石原小学校

<学校教育目標>

生きる力

－ 知・徳・体を高め 未来を拓く－



<校訓>

強く 正しく 睦ましく

前期の成長を 後期の力へ

10月15日、令和8年度前期の終業式を迎えます。振り返れば、4月。新しい学年、新しい教室、新しい友達や先生との出会いに、期待と少しの緊張を抱きながらスタートした子供たちも、この半年間で大きく成長しました。

毎朝、元気な声で「おはようございます」と挨拶をする姿。黙って隅々まで掃除に取り組む姿。授業では、自分の考えをもち、友達の考えに耳を傾けながら学びを深める姿。そして、困っている友達に声をかけたり、学年を越えて助け合ったりする姿。日々の学校生活の中には、一人一人の成長を感じる場面がたくさんありました。

今年度、本校では、学年担任制と教科担任制を組み合わせた新しい学びの形にも取り組んでいます。多くの先生と関わり、それぞれの先生の高さや専門性に触れながら学ぶ中で、子供たちにも「いろいろな先生に相談できる」「授業が分かりやすい」「学ぶことが楽しい」といった姿が見られるようになりました。新しい環境に柔軟に適応し、自分らしく学校生活を送る子供たちの姿にも、確かな成長を感じています。

もちろん、すべてがうまくいった半年間ではありません。友達との関わりで悩んだこと、思うようにできず悔しい思いをしたこともあったでしょう。しかし、そうした経験もまた、大切な成長の一步です。学校は「小さな社会」です。自分の思いだけではなく、相手の気持ちを考えること。時には少し我慢すること。約束やルールを守ること。そうした経験を積み重ねながら、子供たちは少しずつ「生きる力」を身に付けています。

前期の終業式は、一つの区切りです。しかし、成長に終わりはありません。

後期には、これまでできるようになったことをさらに伸ばすとともに、まだ十分にできていないことにも一歩踏み出してほしいと思います。「挨拶は先手必勝」「黙って隅々まで掃除」「学校の約束を守る」。こうした当たり前のことを大切にしながら、友達と力を合わせ、自分から考え、行動できる石原小の子供たちであってほしいと願っています。

保護者・地域の皆様には、この半年間、本校の教育活動に温かいご理解とご協力をいただき、心より感謝申し上げます。後期も、子供たち一人一人の成長を学校・家庭・地域で共に見守り、支えていただきますよう、よろしくお願いいたします。



【JA 出前授業】

5年生と特別支援学級は、JAの方からお話を伺いました。野菜の流通や農家の減少等について知ることができました。



【妻沼いなりずし出前授業】

3年生は小林寿司さんに来ていただき、いなりずしの作り方等について学びました。